



平成27年3月2日

各位

会社名 株式会社ポプラ
代表者名 代表取締役社長 目黒 真司
(コード番号 7601 東証第1部)
問い合わせ先 取締役副社長 中間 昭登
(TEL 082-837-3510)

平成27年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月1日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年2月期第4四半期(累計)連結業績予想の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,542	△499	△500	△908	△91.69
今回修正予想 (B)	48,462	△1,012	△999	△2,062	△208.21
増減額 (B-A)	△2,080	△513	△499	△1,154	
増減率 (%)	△4.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	55,487	△780	△742	△2,300	△232.25

2. 平成27年2月期第4四半期(累計)個別業績予想の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	営業総収入	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,791	△508	△914	△92.32
今回修正予想 (B)	47,643	△1,006	△2,068	△208.80
増減額 (B-A)	△2,148	△498	△1,154	
増減率 (%)	△4.3	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	54,252	△756	△2,309	△233.10

3. 業績予想修正の理由

今期当社は業革の推進により営業力が向上し、中食の売上が前年水準をクリアしている店舗も過半を占める状況になっていますが、一方、小商圏における競争環境の激化に伴い、不採算となった低日販店舗の赤字が全体業績を圧迫する構造に陥ってまいりました。

今後も先行きの見通しに慎重な消費心理による個人消費の伸び悩みや、同業他社の大量出店に伴う競争の激化など、厳しい環境で推移すると予想されることから、第4四半期に構造的に収益を圧迫していた不採算店舗132店を閉店し、新規出店、旗艦店の強化、中食強化、小売業機能サポート事業など成長分野への再投資を促進します。

また、既存店を強化するため、第4四半期に約80店舗に対し美装改装への集中投資を実施しました。

これら今期の構造改革により減損、閉店損失、既存店の美装改装投資が増大することから、上記の通り業績見通しを下方修正いたします。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報より作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上